

「日経研月報」～平成22年9月号(第387号)～

時評	転換期の日米関係 桜美林大学 教授 五十嵐 武士 …1990年代の情勢との比較から、今後必要となる対応を考える
今月の特別記事	年収300万円のマーケットでの経営術 獨協大学経済学部 教授/経済アナリスト 森永 卓郎 …キーワードは「アート」、日本の企業が目指すべきビジネスモデルはイタリアにある
寄稿	シリーズ「金融と不動産の融合」第23回 証券化の経済的な意義(10):トランピングによる投資銀行の超過収益最大化 ペンシルベニア州立大学 助教授 吉田 二郎 …複雑でコストがかかるトランピングが、投資銀行の超過利潤を実現する仕組みを解説
寄稿	シリーズ「地域問題への新たな視点」第2回 地域別社会資本ストックとその老朽化 財団法人電力中央研究所 主任研究員 浜潟 純大 …社会資本ストックの賦存状況と老朽化の程度を定量的に分析し、その結果を踏まえた今後の投資についての示唆を提示
寄稿	バッテリースーパークラスターへの展開 ～関西に集積する電池産業の強みと懸念～ 株式会社日本政策投資銀行 関西支店 副調査役 坂田 枝実子 …「バッテリーベイ」と呼ばれる関西エリア、関連産業集積による「摺り合わせ」の優位性をベースに発展を期待
寄稿	前例のない「年中無休・24時間営業」の寿司店で成功 ～ガリの製造から本マグロの漁獲販売まで世界を駆け巡る～ 株式会社喜代村 代表取締役社長 木村 清 …マグロと寿司へのこだわり、そしてアイデア・戦略・実行力が、今日の発展を支える
海外情報	シリーズ「ヨーロッパにおける政策動向」第8回 高齢化と年金 Pacifica 総合研究部(パリ)主宰 広岡 裕児 …高齢者の退職は、権利か義務か?文化・習慣の違いも含めたフランスの実情を見ながら、日本の将来を考える
海外情報	<シンガポール発>第3回 人材立国戦略の光と陰 株式会社日本政策投資銀行 地域振興グループ 参事役 藻谷 浩介 前 DBJ シンガポール株式会社 シニアアドバイザー …「捨て身の国家開放戦略」が何をもたらしているか? そして日本は、そこから何を学ぶのか?
地域未来研究センター <地域研究>	地域文化シリーズ12:アートの力 財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹 清水希容子 …地域の住民がアーティストになり、まちがアートになってゆく
地域未来研究センター <地域シンクタンク 北から南から>	新幹線と地域振興 青森県を事例に… 財団法人青森地域社会研究所 専務理事 高山 貢 …年間1万人の人口が減る青森県、東北新幹線全線開業を機に、観光振興による地域活性化を狙う
地域未来研究センター <地域だより>	公立大学が拓く地域の“未来” ～公立はこだて未来大学の取り組みから～ 公立はこだて未来大学 地域デザイナー 前田 幸輔 …既成の「大学」の枠を超えて地域活動の舞台となって、よりよい地域の未来を創出しようというチャレンジ

経営・金融法務
トピックス

ビジネスから考える民法(債権法)改正(第2回)

～「履行の請求」「債務不履行による損害賠償」①～

株式会社日本政策投資銀行 法務・コンプライアンス部 弁護士 下久保 翼

…個別論点に関する実務への影響の検討

研究員レポート

シリーズ「コンパクトシティの都市像と創造」第3回(最終回)

地方中核都市のサステナビリティ

財団法人日本経済研究所 調査局 研究主幹 柳内 久俊

…コンパクトシティへの発想の転換が、持続可能な都市の実現と、都市の持つ潜在的な可能性の発見へと繋がる

コラム
<永田村通信>

「外患」より「内憂」

コラム
<直言・曲言>

「国際通貨人民元」は本物か

産経新聞社 特別記者・編集委員兼論説委員 田村 秀男

コラム
<ヨーロッパの街角から>

架け橋の海 ～フランス・カシ～

在独ジャーナリスト 松田 雅央

コラム
<経済独眼>

統計に関する雑感

景気ウォッチャー調査

経済・産業メモ

主要経済指標

日経研だより